

# 社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.28 2023年10月20日  
フォーラム青森  
〒030-0802  
青森市本町3丁目3番11号  
青森県平和労組会議室  
forum-ao2021@outlook.jp  
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

## 地域の課題を取り組もう

フォーラム青森第1回議員団会議は、10月14日16時30分から自治労青森県本部会議室で開催しました。この会議はフォーラム青森に所属する議員（7名）が自治体での問題点や地域の課題などを交流し議員活動に活かすことを目的としているものです。

初回のテーマは「物流クライシス」2024年問題の課題解決に

向けた取り組み」と題して、青森県交運労協議長・馬場光秀（私鉄総連南部バス出身）氏を講師に招いて行いました。なお、この議員団会議はフォーラム青森所属議員を対象としていますが、社会問題の勉強を希望する立憲公認の小笠原大祐県議、杉浦弘樹むつ市議もオブザーバー参加しました。

最初に藤田団長から挨拶を受けました。早速講師から提起を受けました。

その概要は、まず、2024年問題とは物流が国民生活を支える不可欠なインフラであるという共通認識が醸成されているが、「2030年度には34%の荷物が運ばなくなる」という荷主側の視点だけでは不十分。トラックドライバー不足問題の根本原因の低賃金・長時間労働という課題を解決するための労働側の観点から問題提起が必要。そのためにはドライバーの働き方改革と待遇改善が必要だが、その原資となる運賃・料金を適正に収受するべきところ、本年3月の業種別価格転嫁ランキングではトラック運送は27業種中最下位、コスト増に対する転嫁率は僅か21・1%という悲惨な状況。

次に、こうした課題を改善するため、トラック輸送を軸に内航海運、貨物鉄道とのモーダルミックスを進め、持続可能な物流の実現に向けた取り組みの展開が必要。政府・国会では物流問題解決に向けた取り組みを計画しています。が、実現は不透明。自治体議員の皆様にも解決に向けた活動を期待したい。

その後の意見交換では多くの質問が出され活発な勉強会となりました。また、次回の勉強会明年2月を目途に病院統合をテーマに行う予定です。

(原子秀夫)

## 今後の日程

- 11月11日（土）詳細未定  
田名部まさよ国政報告会（五所川原）
- 11月16日（木）14:00~16:00  
フォーラム青森第2回幹事会 ローフク会館
- 11月16日（木）  
4者（立憲、社民F、平和労組、自治労）協議
- 11月19日（日）13:30~  
逢坂誠二衆議院議員「講演学習会」  
ローフク会館4F

## 2面「介護の現状と今後の課題」（前田由美）講演より

- ・高齢者1人を支える労働力人口は1980年には7.4人、2014年には2.4人、2021年は2.1人。2065年の予想では1.3人まで減少するため、4人で3人を支えることになると推計。
- ・3年に1度（3月に）、介護制度は変わります。現場にいる私たちでも、どう変わるか？むずかしい。
- ・悩み事は1人では解決できません。周囲に相談しましょう…
- ・泣いても笑っても悩んでも、同じ時間は過ぎていきます。健康寿命を延ばし、1日でも長く、住み慣れた場所で安心して生活ができるよう、よく食べ、適度に動き、たくさん笑って過ごしましょう！

【モーダルミックス】  
自動車、鉄道、海運などの各交通機関がそれぞれの特性を生かして連携し、効率的な輸送体系を作ること。マルチモーダルとも言われる。かつて通産省（現経済産業省）は「インターモーダル」、運輸省（現国土交通省）は「モーダルシフト」、建設省（現国土交通省）は「モーダルミックス」と省別で呼称が異なった。

(コトバンクより)

# 田名部まさよ国政報告会・青森市で開催



10月16日18時から青森県労働福祉館で「田名部匡代国政報告会」が開催された。当日は、立憲支持者が約100名が参加した。司会進行は小笠原大佑県議が行い、先の県議会議員選挙でのお礼と決意が述べられ、主催者あいさつでは奈良県連幹事長が「県内での立憲民主党として見える化運動の一環として県内各地で開催する」旨の報告がなされた。その後、解散総選挙に向けて一区候補予定の升田世喜男氏から立候補にあたっての決意表明がされ、田名部匡代参議院議員からの講演に移った。

田名部議員からは、211通常国会では立憲民主党から41本の議員立法を提出し、12本の議員立法が成立している。特に、防衛費増額問題についてはその根拠となるべき説明が不足していることや、人口減少で税収が減少している中、その財源確保をどうするのかなどが不明なこと、さらに、予備費の問題は特に問題があると指摘。また予備費の問題については、約30兆円盛られているが、使用されても事後報告となっており事前の使用内容が示されていない。等々今の岸田内閣の不明瞭・不誠実さが報告された。

良い与党を作るためには野党が力をつけなくてはならない。そのためにも、立憲民主党としても「見える化運動」を展開していきたい。との決意も示された。

講演後の質問では、「国の動きなどが話されたが、もっと身近な問題から話してもらわないと実感としてとらえられないし、遠くのものとか感じられない」この問いに対し、「中央と地方の格差の中、最賃が上がったにしろ、中小企業への保障や、地方にもっと目を向けるべきであり、自分もその点は気を付けていきたい」と述べた。その後「国会議員の文通費について透明性を持たせてほしい」さらに「農業政策や、今後の県内の立憲の運動について」などの要望が出され、報告会を終わった。

今後の国政報告会は、11月11日に五所川原市・12月に下北・1月に弘前市・2月に十和田市・3月に八戸市でそれぞれ計画し、開催することも報告された。（斎藤憲雄）

## 2023年第1回 三八地区高齢者集会

三八地域退職者連合（上杉会長）は、10月15日、八戸プラザホテルにおいて、第1回三八地区高齢者集会を開催した。（後援：連合三八、東北労金八戸、こくみん共済 COOP 八戸、こくみん共済 COOP 三八地区共済会）

来賓として、田名部まさよ参議院議員、県退職者連合の蒔田副会長より挨拶をいただきました。

続いて、「介護の現状と今後の課題」と題して前田由美（居宅介護支援事業所ボラリス運営・八戸市議会議員）氏の講演をいただきました。（関連は1面）



最後に、「すべての高齢者・退職者の結集で、安心して暮らせる社会保障制度・社会福祉を確立しよう!!」とのスローガンを確認しました。100名の参加でした。

（佐藤康弘）



田名部参議、蒔田さん、山名市議、田名部市議、…スイマセン